

2016年9月13日

四国アイランドリーグplus

事務局長 坂口裕昭

四国アイランドリーグplus2016後期公式戦 予備日程の最終日について

四国アイランドリーグplus2016後期公式戦における予備日程の最終日に関し、以下の通り、お知らせいたします。

今後、悪天候等による試合中止で、万が一、9月17日(土)までに全日程が消化できなかった場合は、「2016年四国アイランドリーグplus公式戦ルール概要」(2016年3月2日リリース)に基づき、同日をもって、後期公式戦を打ち切り、その時点の成績に基づき、優勝チームを決定致します。

以上

四国アイランドリーグplus運営事務局 株式会社IBLJ

<http://www.iblj.co.jp>

〒761-8013 香川県高松市香西東町267-1

TEL 087-802-1580 FAX 087-802-1581 担当:加藤

2016年四国アイランドリーグ plus 公式戦ルール概要

試合方式

- (1) 原則として4月及び5月を前期、8月及び9月を後期として公式戦を開催する。ただし、後期開幕は7月31日とする。
- (2) 原則としてアイランドリーグ(IL)各球団は、年間54試合(前期24試合、後期30試合)の公式戦を行う。
- (3) IL各球団は、(2)の公式戦以外に、定期交流戦として、福岡ソフトバンクホークス(三軍)と各期4試合、年間8試合、読売巨人軍(三軍)と前期3試合を行い、定期交流戦におけるIL選手の個人成績及び試合の勝敗を公式戦の成績に含める(福岡ソフトバンクホークス、読売巨人軍の個人成績及び試合の勝敗は公式戦の成績に含めない)。
- (4) 公式戦(定期交流戦を含む)の試合は9回までとし、延長戦、引き分け再試合は行わない。
- (5) 読売巨人軍との定期交流戦に限り、予備日が設けられていない為、雨天等により中止またはノーゲームとなった場合、当該試合の全ての記録を公式戦の成績に含めず、試合の勝敗は0対0の引き分けとして扱う。
- (6) 予備日を含み、悪天候等による試合中止で全日程が消化できなかった場合は、公式戦を打ち切り、その時点の成績で優勝を決定する。

選手・練習生登録

選手登録数は25名までとし、公式戦・定期交流戦に出場することができる。練習生登録数は15名までとし、公式戦・定期交流戦には出場できない。所属球団は、選手と練習生の合計で40名まで登録できる。

指名打者

当リーグは指名打者(DH)制を採用する。

予告先発

当リーグは予告先発制を採用する。ただし、福岡ソフトバンクホークス、読売巨人軍との定期交流戦については採用しない。

規定打席・規定投球回数・個人成績

- (1) 規定打席は、所属球団の試合数×2.7打席とする。
- (2) 規定投球回数は、所属球団の試合数×0.8回とする。
- (3) 定期交流戦におけるIL選手の個人成績を公式戦の個人成績に含める。

優勝(順位)決定方法

- (1) 各期の優勝は、公式戦と定期交流戦の前期31試合、後期34試合の勝率により決定する。引き分けの試合については、再試合を行わず、勝率の計算から除く。
勝率=勝試合数÷(勝試合数+負試合数)
- (2) 各期公式戦終了時点で勝率が同率の場合には、下記の順に優位な球団を優勝球団とする。その他の順位を決定する場合も同様とする。
①同率球団間の当期の対戦成績 ②当期の得失点差 ③当期の総得点数

年間総合優勝球団決定方法：リーグチャンピオンシップ(CS)

- (1) 前・後期それぞれの優勝球団間で、原則として全5戦を行い、3戦先勝したチームが優勝となる。
- (2) 同一球団が前・後期優勝した場合、当該球団に1勝のアドバンテージが与えられ、年間勝率2位の球団と全4戦を行う。
- (3) 9回を終了して同点の場合は延長戦を行う。延長戦は原則として決着がつくまで行うが、球場の使用時間制限等、各球場のルールに従い、引き分けになる場合がある。
- (4) 引き分け等により、全5戦を終了した時点でいずれかの球団の勝数が3勝に満たない場合でも、全5戦の対戦成績で勝敗を決定する(対戦成績が五分の場合を除く)。
- (5) 全5戦を終了して、2勝2敗1分、1勝1敗3分等、対戦成績が五分の場合は、予備日にて追加で1試合を行い、その試合に勝利したチームを優勝とする。
- (6) 雨天等により、予備日を含めて全ての日程を消化できなかった場合は、その時点での対戦成績で勝敗を決定する。
- (7) 予備日を含め、対戦成績が五分の場合には、下記の順に優位な球団を年間総合優勝球団とする。
①CSの失点率(総失点÷総イニング数) ②公式戦の年間通算勝率 ③公式戦の当該カードの年間対戦成績